

用語集

用語集

< ア行 >

雨水浸透施設	浸透マス、透水性舗装など、雨水を地下に浸透させる施設。
埋立市街地（埋立地）	公有水面埋立事業によって誕生した地区の総称。 袖ヶ浦、秋津、香澄、茜浜、芝園地区を指す。
駅勢圏	日常的に駅を利用する人々の居住地・就業地・就学地の範囲をいう。 徒歩駅勢圏は、駅を中心としたおおむね半径1km程度の円を基本とされる。
エコシティ	自然と共生できる都市づくりの概念。自然の保全・省エネルギー・住民の健康などをテーマとして整備されたまちをいう。
エコロジーゾーン	動植物群及びそれを支配する土壌、地形など、環境・生態の視点から配慮された構造をもつ生態圏域をいう。
オープンスペース	都市や敷地内で建物のたっていない土地、広場。災害時の避難場所となる。

< カ行 >

街区公園	住民が最も身近に利用できる公園のこと。 誘致距離は日常生活圏（約250m圏）が一般的で、面積は1箇所当たり0.25haを基準として配置される。
環境負荷	人の活動により、環境に加えられる影響であって、環境の保全上の支障の原因となる恐れのあるものをいう。（市条例）
緩衝緑地	大気汚染、騒音、悪臭等の公害の防止・緩和、もしくは災害の防止を図ることを目的とした緑地。
既成市街地	公有水面埋立事業によって誕生した埋立市街地（袖ヶ浦、秋津、香澄、茜浜、芝園地区）を除いた市街地を指す。
協働型	市民、企業、行政など異なる主体が同一の地平に立ち、交流を通して生み出される知意とエネルギーを結集してまちづくりを進めること。対立する概念は行政主導型。
近隣公園	1つの近隣住区（コミュニティ）形成の役目を担う都市計画上最も基本的な公園である。 誘致距離は約500mを対象範囲とし、1近隣住区当たり1箇所を目標に面積2haを標準として配置する。
建築協定	地域の環境の維持・増進するため、一定の区域内の権利者全員の合意により、区域内での建築物等に関する基準等を定める協定。
公共空地	一般公衆が利用できる公園、緑地、広場等公有の空地をいう。
コーホート法	ある地域において集団毎の時間変化を軸に人口の変化をとらえる方法。 例えば、現在20～24歳の人口は5年後には25～29歳に達する。その集団（20～24歳）の5年間の変数（生残率・移動率・出生率等）を追跡し、5年後の人口（25～29歳）を推計する方法をいう。
工業地	工業や業務等の産業活動の拠点のことで、製造・流通・運輸・研究開発等の様々な機能が集積した地区。
高度処理	本書では、下水の処理程度を表す言葉で、活性汚泥法に代表される二次処理による処理水質を更に向上（窒素、リン等の除去）させるために行われる処理をいう。
合流式	日常的に排出される汚水と雨水を一緒に集水処理する下水道方式。

用語集

< サ行 >

再開発地区計画	大規模な低未利用地等を一体的かつ総合的に再開発を行うことで土地の合理的・有効的な高度利用を促進する開発手法。
産業環境	生産そのものに関わる環境だけでなく、周辺の土地利用、道路・公園等の整備状況も含めた総合的な環境を指す。
自然保護地区	樹林、草地、水面等の所在する地域であって、良好な自然環境を維持するため保護することが必要な地区。（市条例）
市街化区域	都市計画区域において、すでに市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域のこと。
市街化調整区域	都市計画法に基づく都市計画のうち、自然環境や農業などを保全するために、市街化を抑制すべき区域のこと。
市街地開発事業	市街地の面的整備を行う各種事業の総称。土地区画整理事業や市街地再開発事業などがあり、市街地の現況や整備の目的にあわせて適用される。
資源循環型社会	「大量生産・大量消費・大量破棄」型の経済社会から脱却し、生産から流通、消費、廃棄に至るまで物質の効率的な利用やリサイクルを進めることにより、資源の消費を抑制し、環境への負荷を少なくした社会。
生涯学習	学習者の自由な意志に基づいて、それぞれにあった方法で生涯にわたって学習していくこと。1990年生涯学習振興法で法制化された。
親水空間	水とふれあい親しむことを目的とした場所。
住環境	住宅の居住性能に関わるだけでなく、周辺の土地利用、道路・公園等の整備状況も含めた総合的な環境を指す。
住区基幹公園	近隣住区内の住民の日常的な利用に供するために、近隣住区を利用単位として設けられる基幹的な公園で、その機能から街区公園、近隣公園、地区公園に区分される。
市町村の都市計画に関する基本的な方針（都市マスタープラン）	住民に最も身近な立場にある市町村が、住民の意向を反映させながら策定する都市づくりの総合的な指針。 都市計画法の改正（平成4年6月）によって創設された。
障害者等	心身に何らかのハンディキャップを背負った人々（身体障害者、知的障害者、精神障害者）、社会生活上から何らかのハンディキャップを背負った人々（妊産婦、けが人、病人、乳母車の親子、幼児等）を含めて、これらの人々をすべて弱者ととらえ、障害者等という。
生産緑地	緑地機能及び多目的保留地機能を有する市街化区域内の農地を保全するため、都市計画に定める地区。

< タ行 >

段丘斜面	不連続な下降のために海の沿岸に沿って階段状に発達した地形。
地区計画	一体的に整備・保全を図るべき地区に対して、都市施設の整備、建物の建築等に関する事項を総合的に定め、地区の特性にふさわしい良好な環境を整備・保全する制度。

用語集

地区公園	普通4つの近隣住区（コミュニティ）単位が集合した地区を利用圏域として設けられる公園である。 誘致距離は約1,000mを対象範囲とし、1箇所の面積は4haを標準として配置する。
駐車場整備地区	駐車場法に基づく駐車施設の整備を重点的に推進すべき地区。
鳥獣保護区	鳥獣の捕獲を禁止し、鳥獣を積極的に保護繁殖させる場所として、環境庁長官又は都道府県知事が設定する区域。
特別鳥獣保護地区	絶滅の恐れのある鳥獣の生息地、渡り鳥の飛来地及び中継地、集団繁殖地などの全国的にみて重要な鳥獣の生息地に設定される区域。
都市環境保全地区	市街地又はその周辺の樹林の所在する地域であって、良好な都市環境を保持するために必要な地区。（市条例）
都市基幹公園	市町村に居住する者の安全で快適かつ健康的な生活環境及びレクリエーション、休養のためのスペースとして、都市を単位としてもつけられる基幹的な公園で、その主たる機能から総合公園、運動公園に区分される。
都市計画区域の整備、開発及び保全の方針	都市計画区域における人口、産業の現状及び将来の見通し等を勘案して、長期的視点より都市の将来像を明確にし、その実現へ向けての道筋を明らかにしたもの。 都市計画区域における都市計画の基本的な方向性を示すものとして知事が定める。
都市づくり	本書においては、市域を全体的な目でとらえ、都市の機能的な側面を充実させるため、物的な施設整備を促進するとともに、これらの施設を効率よく運営・活用する意味を含んで用いている。
都市マスタープラン	市町村の都市計画に関する基本的な方針の別称。
< ナ行 >	
ノーマライゼーション	高齢者も若者も障害者も健常者もあらゆる人々が人間として共に暮らし、共に生きるような社会があたり前であるという考え方。
< 八行 >	
バリアフリー	年齢、性別、職業、障害の有無などに関わらず、誰もが自由に行動できるよう、社会生活における様々な障害を無くそうという概念。
ビオトープ	特定の生物群が共存できるような、特定の条件を備えた地域。生物を意味するBioと場所を意味するTopeを合成したドイツ語で、直訳すると「生物生息空間」。
ビジョン	未来像、将来に対する構想。
避難場所	震災時等における建物の倒壊、火災流出等から、住民の安全が確保できる場所。
分流式	日常的に排出される汚水と雨水を個別に集水処理する下水道方式。
ペアシティ構想	JR津田沼駅・新京成新津田沼駅周辺とJR新習志野駅周辺からなる2大都市拠点形成する構想。それにより、活力と魅力のある広域的な都市拠点の形成を図る。
ポテンシャル	潜在的な能力、可能性をもった状態。

用語集

<マ行>

まちづくり 本書においては、人の生活環境全般をよりよいものとするための抽象的な表現として、幅広く教育や福祉等の領域を含んで用いている。

街づくり 本書においては、地域や地区において身近な道路や公園、建物等の計画や事業などの物的な生活環境の向上を表すものとして用いている。

<ヤ行>

谷戸地 低湿地。平地に突き出た丘と丘に挟まれた土地をいう。

誘致圏 利用者が公共施設などを利用しやすい圏域。例えば、都市公園に関して、街区公園・近隣公園・地区公園の誘致圏の標準がそれぞれ半径250m・500m・1kmとされている。

ユニバーサルデザイン 障害者だけを前提としないで“だれもが使いやすいもの”、“すべての人にやさしいデザイン”のこと。

<ラ行>

ライフスタイル 個人や集団の生き方（生活様式）。単なる生活様式を超えてその人の自我を示す際に用いられることもある。

ライフライン 都市において、日常生活の維持に欠かせない交通、水、エネルギー、電気、ガス、情報伝達等の機能を果たす社会基盤。

ラムサール条約 正式名は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」。水鳥の生息・飛来地である湿地を国際的資源として保全することを目的としている。

緑地協定 市街地の良好な環境を確保するため、一定の区域内の権利者全員の合意による区域内における緑地の保全又は緑化に関する協定。

レクリエーション 生活を楽しみ、明るくし、快くするための一切の行為。一般には観光、スポーツ、レジャー等と同義で使われる。
